

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	124 俳句のくにづくり拠点施設建設事業	会計	01	一般会計
基本	35 文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	款	02	総務費
策		項	01	総務管理費
		目	07	文化振興費
施策	4 松尾芭蕉を核とした地域づくりの推進	細目	105	俳句のくにづくり拠点施設建設事業
		細々目	01	俳句のくにづくり拠点施設建設事業
基本計画該当頁		140		行革大綱の重点事項番号
				7
担当部課	コード 040200 名称 企画振興部文化国際課	評価者氏名	森本 勝美	連絡先 22 - 9624 (内線) 2120

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
芭蕉翁を顕彰する人、俳句愛好家 伊賀市を訪れる観光客 生涯学習活動、文化活動を行う人 (※対象件数)	芭蕉翁の俳諧資料などを収集・保存・展示し、調査研究・情報提供を行うことができる。 生涯学習、社会教育、観光施設としても活用できる。 伊賀市を訪れる観光客が増える。
根拠法令・要綱等 (仮称)新芭蕉翁記念館整備検討委員会設置要綱、(仮称)新芭蕉翁記念館基本計画検討委員会設置要綱	
開始年度 平成 19 年度	関連事業
終了年度 平成 年度	
事業内容	状況変化等
(仮称)新芭蕉翁記念館基本計画策定に係る検討委員会を6回開催した。新記念館の事業計画、展示計画、施設計画、管理運営計画等、新記念館の骨格について審議し、市長に答申した。	平成19年度は、(仮称)新芭蕉翁記念館建設について、整備検討委員会を設置し「基本構想」の審議を行った。平成20年度は、市としての「基本構想」の策定並びに、基本計画検討委員会を設置し、新記念館計画の骨格について定める「基本計画」の審議を行った。平成21年度は、基本計画の策定と、新記念館整備における課題解決に向けた取り組み等を行う。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
(仮称)新芭蕉翁記念館基本構想策定	回	目標 - 実績 -	目標 1 実績 1	-	-
(仮称)芭蕉翁記念館基本計画策定	回	目標 - 実績 -	目標 1 実績 0	1	-
(仮称)芭蕉翁記念館事業計画策定	回	目標 - 実績 -	目標 - 実績 -	-	1

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
検討委員会の開催回数	市民、有識者の意見を入れながら、整備計画を策定する。	回	目標 3 実績 6	目標 7 実績 6	-	5
パブリックコメントの聴取回数	市民の意見を整備計画に反映させる。	回	目標 - 実績 -	目標 1 実績 1	-	1

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	昭和34年に建てられた芭蕉翁記念館の老朽化が進み、展示スペースも手狭で、新しいニーズに対応した施設の建設が必要である。また、平成10年には芭蕉翁記念館建設にかかる答申がなされ、平成18年には美術館建設の請願が提出されるなど、生涯学習、社会教育、観光等の要素を兼ね備えた複合施設の建設が強く望まれている。
有効性	4	松尾芭蕉生誕地の記念館として、芭蕉翁の作品と心を伝える斬新な展示活動により、芭蕉文学と俳句文芸の一大拠点として後世に継承する記念館となるとともに、学習支援や学校連携により、生涯学習の一翼を担う施設となる。あわせて、まちなかへ人々が周遊できるしくみづくりにより、市の活性化が図られる。
達成度	3	ほぼ計画どおりできた。
効率性	4	新記念館整備に向け、有識者などのアドバイザーや関係団体等との連携により、課題解決に向けた取り組みを行うとともに、事業計画、展示・建築設計に向けた準備を行う。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	市グランドデザイン、基本計画に基づき、新記念館整備に向け着実な事業推進を図る。

進捗状況	年度	平成19年度 決算内容				平成20年度 決算内容				平成21年度 計画内容				平成22年度 計画内容				平成23年度 計画内容				平成24年度 計画内容																											
		事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額																								
委託 工事	19	報酬 旅費 計画策定委託料 その他			(千円) 666 59 410 47	報酬 旅費 謝礼 旅費 自動車借上料 その他			(千円) 342 186 6,038 214	報酬 謝礼 旅費 自動車借上料 その他			(千円) 360 800 350 300 164	報酬 旅費 計画策定委託料(事業計画) その他			(千円) 300 200 3,000 100																																
																										進捗率(%)																							
																										事業費計(A)	Σ	1,182	事業費計(A)	Σ	6,780	事業費計(A)	Σ	1,974	事業費計(A)	Σ	3,600	事業費計(A)	Σ	0	事業費計(A)	Σ	0	事業費計(A)	Σ	0	事業費計(A)	Σ	0
																										事業投入人員	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.0	人	0	人件費(B)	0.0	人
フルコスト(A)+(B)				3,342				8,940				4,134				5,760				0				0																									

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	1,182	6,780	1,974	3,600	0	0
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金			6,000			
地方債				2,850		
受益者負担						
その他						
一般財源	1,182	780	1,974	750	0	0
計	1,182	6,780	1,974	3,600	0	0
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率		県合併支援金		合併特例債 95%	
	地方債の区分と充当率等					